

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・

地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## もくじ

□地域包括ケアにおけるNPOと市民活動センターの役割……………1P

□介護職員初任者研修……………2P  
 □地域円卓会議普及啓発セミナー……………2P  
 □フォーラムあいち研修集会……………2P  
 □フードバンクプロジェクト……………2P  
 □会員団体紹介……………2P

□高校生レストラン……………3P  
 □行動援護従事者養成研修……………3P  
 □豊明市ボランティアポイント制度……………3P  
 □NPO担当職員リレー……………3P  
 □インターンシップ報告……………3P  
 □インフォメーション……………4P

## 地域包括ケアにおけるNPOと市民活動センターの役割

代表理事 岡本一美

社会保障制度改革国民会議の報告書がまとめられた。持続可能な全世代対象の社会保障への転換をめざし、(能力別)負担の増加と医療・介護給付の重点化が主な内容である。最大の課題は地域包括ケアシステムの構築。医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供され、誰もが最期まで住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりを進めるためのモデル構築を目指し、愛知県では昨年からの検討のための懇談会や研究会が開催されている。

システム実現のカギを握るのは、市町村と医師会であり、コーディネーターとしての地域包括支援センターに期待される役割は甚大。

一方で、成否は介護予防につながる互助活動・生きがい活動、生活支援サービスをいかに生み出すかにもかかっている。介護保険制度前から「困ったときはおたがいさまのたすけあい活動」を行ってきた福祉NPOの想いと経験、日常生活圏域内ネットワーク形成、起業支援が地域資源に直結してくる。

NPO法人はっぴいわん大府の「PPK=生涯現役」を実現する居場所づくりは、知多市南粕谷コミュニティなど地縁主体でも始まっている。いち早く常設型サロンを整えた半田市岩滑区では、NPO法人りんりんと連携で、認知症や独居高齢者を住民同士の見守り声掛けで対応していく体制を整えつつある。「子どもへの見守りも同時に行いたい」との住民の声が頼もしい。このような体制は将来世代に引き継げる、地域の貴重な共通財産になる。

福祉NPO、行政、社協、地域包括が参加するネットワーク会議が開催されている市町もある。

ネットワーク会議には、市民活動センターやボランティアセンターも参加、包括支援センターとの連携で、市町村裁量による日常生活支援総合事業の組み立てとコーディネート、生活支援サービスの開発などを実現させたい。すでに半田市の市民活動センター「まちづくりひろば」では、「自治推進拠点」意識が明確になってきた。日常生活圏域におけるネットワーク化も目前である。

国民会議会長である清家氏は報告書に「現在の世代はどのように努力をしたらよいのか、ということを考え抜いた」と書いた。今、まさに私たちは、一人一人の市民としての責務、NPOで活動する者としての責務、コーディネート役としての責務を考え、将来世代に先送りしないまちづくりに向け、地域ごとにビジョン共有と解決策における役割を全うしていく局面に入った。

### ワンポイントマネジメントセミナー① マルス魂から学ぶ 理念経営 ～ミッション・ビジョン・バリューを核に～

講師 上木年男さん  
(マルスフードショップ株式会社 社長)  
 日時 10月11日(金) 13:30～16:30  
 会場 知多市民活動センター2階 会議室2  
 参加費 1000円(定員25名)

### 予告 障がい者虐待に関わる講演会

講師 野沢和弘さん(毎日新聞論説委員)  
 日時 12月11日(水) 13:30～16:30

## ■介護職員初任者研修 開始

平成25年4月から施行規則変更に伴う研修課程の見直しにより、ヘルパー2級講座が介護職員初任者研修となり、名古屋短期大学通信講座を皮切りに日福大通信・通学、半田通学講座を開催している。昨年度末の駆け込み受講が多かったことと新課程のためか、これまでに比べて受講生が少ないのが現状。一方でサポートにはNPOやいろいろな施設から「職員募集」の連絡があり、一般求人広告にも介護職募集が多く掲載され、担い手不足が続いている。

先日ある学生が感想で「介護職に興味があるが、親から反対された」との記述より、介護職への偏見を払しょくし、介護の仕事がやりがいと魅力ある仕事であると啓発の必要がある。



2人一組となって、視覚障がいの方をガイドする練習の様子

現在募集中の10月1日（火）から知多市で始まる通学火木コースは1月30日に修了する予定。（竹内）

### ☆会員団体紹介☆

#### 「認定特定非営利活動法人 たすけあい名古屋」

平成25年7月4日付で認定NPO法人の認証を受けたことを報告します。平成24年度中の取得に向け、多くの皆様にご協力をいただいたの認定を感謝申し上げます。

名古屋市では3番目の認定、保健医療福祉分野（介護・福祉関連）では最初となります。これからは認定NPO法人の名に恥じぬよう、地域福祉・公益の増進、生活介護サービスの強化に努めていきますので、今後ともより一層のご支援ご協力をお願い致します。

☆・\*:. . . ☆\*.. \*° . ☆:\*:. . . ☆\*° :° .. ☆

— 認定とろう！ナビ —

<http://www.nintei-torou.net/>

## ■地域円卓会議普及セミナー



午前:エリアや課題の異なる3事例紹介  
午後:二重円卓会議の模擬体験(写真)

地域実情に合わせた協議の場の設置・運営の定着とその設置支援を図るため、7月20日（土）あいちNPO交流プラザで開催し、77名の参加があった。事後相談は4件あり、実際の設置のため具体的な支援を今後につなげる予定。（市野）

## ■「新しい公共フォーラム・あいち」研究集会

今年1月開催の第2弾として8月10日（土）愛知大学名古屋校舎にて、ともに支え合う地域 みんなでつくる、次世代につなぐ！をテーマに開催された。



分科会D  
「こども  
若者教育  
支援 地域  
円卓会議」を  
(一財)  
こども財  
団、(認N)  
CAPNA、当

藤岡氏(こども財団理事)より子ども子育て会議の設置について、対処療法ではなく課題をどうするか、目指す姿の円卓で市民発の政策プロセスに関与する必要性を説いた

法人の3者で企画運営した。多様化する青少年期の課題を未然に防ぐために、乳幼児期の子ども・子育て家庭支援の地域連携を考えた。44名の参加者からは、各自治体毎に開催されるべき「子ども子育て会議」の設置など、地域毎に円卓会議が推進されるよう声を挙げていくことなどが共有された。（市野）

## ■フードバンクプロジェクト@ちた 始動！

賞味期限間近の食品をコストコ中部空港倉庫店から提供を受けることになり、常滑社会福祉協議会、日本福祉大学、当法人の3者でフードバンク活動への取り組みを始めた。地域たすけあい等の支援団体に向け、説明会を下記の通り開催する。（市野）

日時：9月6日（金） 午後6:30～午後8:30

会場：知多市市民活動センター2階 会議室

定員：25名（前日まで申し込み可）参加費：500円

内容：講演『フードバンクって何？（仮称）』

(N) セカンドハーベスト名古屋 本岡俊郎氏

## ■Ada-coda 高校生レストラン

8月6日～8月9日の4日間、県立知多翔洋高校フードデザインコースの学生15名が4グループにわかれて、ワンディシェフ方式の高校生レストランを開店した。電話による問い合わせやメディア等の取材を受けるなど、連日大盛況に終わった。  
(海老原)



**【高校生の感想】**  
準備とか大変だったけどすごく楽しかった。お客様からレシピを尋ねられて嬉しかった。自信がいった。

栄養バランスのよいランチを提供、準備した30食が予約時点で完売！

**【先生の感想】** この高校生レストランのために1カ月近く準備をしてきた。営業はたった一日でしたが、確実に生徒が成長した気がする。多くのことをお客さまから教えていただいたことに感謝。

## ■第28回行動援護従業者養成研修(一宮)

社会福祉法人樫の木福祉会が運営する一宮療育プラザチャイブの会場にて6月23日、7月7、14日の3日間の研修を行い37名が修了した。5年連続開催と、障がい者相談支援事業所ゆんたくの野崎氏による関係者への周知もあり、尾張地区での福祉人材育成が定着化してきた。(五十嵐)

## ■豊明市ボランティアポイント制度

「困ったときはお互い様の助けあい・支えあい」を循環させるために豊明市が昨年度から独自の制度として始



安井理事による、ボランティアの心構えと生きがいづくりを熱心に聴く参加者ら

めた。介護保険法に基づく地域支援事業として65歳以上の介護予防および健康増進を目的に社会参加や地域貢献にボランティアポイントを付与するもの。7月17日(水)豊明市文化会館で行われ、新規88名が加わり総会員数は178名となった。  
(市野)

## NPO担当職員リレー

### 半田市企画部市民協働課 市民協働・男女共同 参画担当 主事 中川貴王さん



武豊町で生まれ育ち、まつり囃子の伝承等で地元に貢献する。旅行や登山などで長崎以外の46都道府県を回ったアウトドア派。

市民活動支援センターと社協ボランティアセンターを統合して「はんだまちづくりひろば」を開設した平成23年度当初は、スタッフとして新しい環境での情報共有の難しさに戸惑いを覚えたこともあった。今では、年々相談件数が増加するなど、センターの運営に手ごたえを感じ始めている。

センター機能としてNPO支援に必要なコーディネートは、様々な情報を集め、ニーズを把握して仕掛けないと「縁結び」になりえない。「巡り巡って半田のためになれば」という信念で、市内市外を問わず市民や団体の気持ちを受け止め、支援につなげている。常々相手のメリットをどう探すか? 「狭い考えではいい仕事はできない」という先輩職員からの教えを守り、チームプレーを心がけている。

半田市はこの3年間、様々なセクター間の情報共有を進める出会いの場を開催している。今月は、地元企業を集めて中部プロボノセンターの戸成司朗氏(東海ゴム工業(株))を講師に招き、プロボノセンターの動向をはじめとした社会貢献活動の情報共有と交流の場を企画し、協働のまちづくりに向けた縁結びを図る。/市野

## ■インターンシップ報告

### 名古屋短期大学 五味沙絵さん (7/22～8/2)



あゆみ、ゆいの会、だいこんの花、もやいで出会った利用者様の笑顔と感謝の言葉が印象に残った。赤ちゃんから94歳の幅広い世代の方まで触れ合う機会に、改めて「おもいやり」の気持ちが大切だと気づいた。

## ■2013年7月号 1頁(1行目) 訂正のお詫び

通常総会の開催日(誤)6月30日 ⇒ (正)5月30日

# サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

## ■知多半島地域こころの健康フェスティバル

知多半島地域のこころの健康についての講演や、精神障害を持つ方とのふれあい企画などを通して、こころの健康への関心、精神障害への理解を深めることを目的としている。

<日時>9月14日(土)午前10時～午後4時

<会場>常滑市民文化会館

<内容>午前:当事者交流会「あなたの願いを話ませんか?」/午後:フォーラム「知多半島地域で発達障害を考える ～子どもから大人までの支援について～」 講師:岡田俊(名古屋大学精神科准教授)

<問合せ>知多半島地域こころの健康づくり連絡協議会事務局(N)かもめ福祉会ワークルームかもめ ☎0569-82-5137

## ■絆まつり ～つなげよう 絆の輪～

NPO法人絆は「こまった時はおたがいさま」の心で地域のたすけあい活動을 続けて20年目を迎え、今年も日本福祉大学の学生と一緒に「絆まつり」を開催!

<日時>9月14日(土)午前11時～午後2時

<会場>NPO法人絆 ※東浦町役場職員駐車場から送迎車が出ますが乗り合わせてお越しください(雨天決行)

<内容>模擬店:冷しうどん、やきとり、カレー、スパゲッティ、チャーハン、わらび餅、あんみつ、フランクフルト、かき氷、ソフトドリンク、コーヒー等 ゲーム:輪投げ、ボール投げ、重さ当て イベント:さをり織り、バルーンアート、金魚すくい

<主催>(N)絆 ☎0562-83-7563

## ■わくわくみずほまつり

瑞穂区のNPO、ボランティア、住民有志、社協のネットワークグループ「みずほたすけ愛ネット」主催の地域交流事業。ボランティア同士の交流、新しいボランティアの発掘を目指し、活動紹介、サークル発表、模擬店、バザーなど約40の団体が参加する楽しいイベントを開催!

<日時>9月29日(日)午前10時～午後3時

<会場>名古屋市瑞穂区在宅サービスセンター  
及び 汐路コミュニティセンター

<問合せ>(N)すけっとファミリー ☎052-861-6047

## ■チャレンジド祭り

NPO法人チャレンジの活動は、美浜町を拠点に障害のある方の生活支援や障害児の放課後等支援・居場所づくり。祭りは楽しいイベントや出店など盛りだくさんの内容で開催!

<日時>10月26日(土)午前11時～午後3時

<会場>(N)チャレンジ 美浜町奥田儀路272

<内容>大道芸、バルーンアート、和太鼓演奏など

<主催>(N)チャレンジ ☎0569-87-6727 (福澤)

## ■若者の進路・就職無料相談

15歳から39歳くらいの若者とその保護者に、カウンセラーによる就職・進路相談を行っています。また、就職支援セミナーや職業体験の案内もしていますので、お気軽にお立ち寄りください。

<開催>毎週火～土曜日 午前10時～午後6時

<会場>半田市広小路町90番地 クラシティ半田3階

<問合せ>(N)エンド・ゴール(ちた地域若者サポートステーション)

☎0569-23-2252

## ■研修開催のお知らせ

### ◎介護職員初任者研修

<土日祝コース>9月7日(土)～12月23日(月)

<平日コース>10月1日(火)～12月17日(火)

### ◎精神障がい者ホームヘルパー養成研修

<講義>10月5日(土)・12日(土)

<実習>10月21日～11月22日のうち1日実施

<会場>ネットワーク大府新館2階研修室

<主催>(N)ネットワーク大府 ☎0562-44-3735

## ■貸家のお知らせ

土地・建物を有効活用して下さる方(団体)を募集中!

<物件>築28年 2階建一軒家 知多市巽ヶ丘4丁目344番地 面積:土地293.95㎡ 建物延べ200.24㎡

<問合せ>(N)ゆいの会 ☎0562-32-5906

## NPO現場見学バスツアー



【10/24 NPOから学ぶOJTの人材育成】

【1/23 NPO・行政・地縁との連携】

9:30集合 10:00出発 ～ 16:00帰着

参加費:5,000円 (担当:江端)



特定非営利活動法人  
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743